

第51回愛知県野生生物保護実績発表大会 ～輝く未来のいきものサポーター～ を開催しました

愛知県では、野生生物の保護意識の普及・啓発と、環境保全意識の高揚及び生物多様性の主流化を図るため、愛知の未来を担う子供たちが主体となって実践する取組を発表する本大会を1971年度から開催しています。令和3年度は、以下のとおり開催しました。

1 開催概要

(1) 日 時

令和3年8月5日(木) 午前10時30分から午後3時30分まで

(2) 場 所

刈谷市産業振興センター 7階 小ホール (刈谷市相生町1-1-6)

(3) 発表団体

9団体(小学校3校、中学校2校、高等学校4校)

(4) 参加者数

249名

(5) 発表プログラム

別紙のとおり

2 入賞団体一覧

賞	入賞団体名
愛知県知事賞	岡崎市立生平小学校
〃	愛知県立三谷水産高等学校 海洋資源科
〃	豊田市立滝脇小学校
愛知県教育委員会賞	岡崎市立河合中学校
〃	岡崎市立美合小学校
愛知県自然観察指導員連絡協議会賞	愛知県立時習館高等学校 SSH生物部
〃	岡崎市立東海中学校 自然科学部
公益社団法人愛知県獣医師会賞	愛知県立佐屋高等学校 科学部
〃	桜丘高等学校 生物部

—発表プログラム—

別紙

【午前の部】

時間	発表団体名	発表テーマ
10:15	開場(受付開始)	
10:30	～開会式～	
10:40	発表開始	
各発表時間 10分間 審査委員と の質疑応答 5分間 (各団体 計15分間)	1. 豊田市立滝脇 <small>たきわき</small> 小学校	私たちの愛鳥活動 知ろう!滝脇の自然 守ろう!私たちの森 広げよう!地域へ
	2. 岡崎市立美合 <small>みあい</small> 小学校	生田蚩は「美合の宝」 ～トライ&エラー 自分で できることに 挑戦しよう 1年目～
	会場入れ替え(20分間)	
	3. 岡崎市立生平 <small>おいだいら</small> 小学校	野鳥がすみ続ける自然豊かな『生平』を目指して
	4. 岡崎市立東海 <small>とうかい</small> 中学校	次代へつなぐ私たちの宝 ～東海の誇りある自然を守るために～
12:00頃	閉会	

【午後の部】

13:15	開場(受付開始)	
13:30	発表開始	
各団体の 発表時間 10分間 審査委員と の質疑応答 5分間 (各団体 計15分間)	5. 岡崎市立河合 <small>かわい</small> 中学校	河合の宝 ゲンジボタル —伝統の継続 そして一歩前進—
	6. 愛知県立時習館 <small>じしゅうかん</small> 高等学校	三河湾の環境調査 ～海・河川・干潟の環境と生物調査～
	7. 愛知県立三谷 <small>みや</small> 水産高等学校	海の豊かさと陸の豊かさを守るために、水産高校生が できること
	会場入れ替え(20分間)	
	8. 桜丘 <small>さくらがおか</small> 高等学校	絶滅危惧種「タガメ」の繁殖と展望
	9. 愛知県立佐屋 <small>さや</small> 高等学校	水田生物の保護と生態系の保全
15:20	～閉会式～	
15:30頃	閉会	

3 開催状況



【小学校の発表】	
1 豊田市立滝脇小学校 <small>たきわき</small>	私たちの愛鳥活動 知ろう！滝脇の自然 守ろう！私たちの森 広げよう！地域へ
<p>「知る」・「広げる」・「守る」をテーマに、四季を通して、各学年に応じて給餌活動や栄養調査を実施。また、校内だけでなく、地域の人たちと一緒に、地域への広がり意識した活動（探鳥会や野鳥の森整備等）も行っている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
2 岡崎市立美合小学校 <small>みあい</small>	生田蛭は「美合の宝」 ～トライ&エラー 自分で できることに 挑戦しよう 1年目～
<p>ホタル幼虫の育成活動を中心に、河川環境調査や河川清掃等の環境保全活動にも力を入れ、ホタルの成虫飛翔数の増加に繋がった。また広報活動として、ホタル保護を訴える看板の設置や「蛭音頭」を運動会等で披露するなど、地域の保護意識の高揚にも努めている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
3 岡崎市立生平小学校 <small>おいだいら</small>	野鳥がすみ続ける自然豊かな『生平』を目指して
<p>野鳥がすみ続けられる学区を目指して、4つの「る」（知る、守る、広げる、つなげる）を意識し、ウォッチングカードの作成や野鳥検定、栄養活動等を実施。「広げる」活動では、愛鳥新聞や野鳥下敷きの作成、発表会を通して、学区や保護者に広める努力もしている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

【中学校の発表】

4	岡崎市立 ^{とっかい} 東海中学校 自然科学部	次代へつなぐ私たちの宝 ～東海の誇りある自然を守るために～
地域や学校外の人たちの助言・協力を得ながら、カワバタモロコの保護・繁殖活動を始め、水質調査・生物の観察、北山湿地の保全活動、広報活動に取り組んだ。また活動の成果等を、学校ホームページ「自然科学部水族館」で発信した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		
5	岡崎市立 ^{かわい} 河合中学校	河合の宝 ゲンジボタル —伝統の継続 そして一歩前進—
学術論文や地域の有識者の助言等を参考として、ゲンジボタルの飼育方法に工夫を加え（餌の研究等）、水路に放流することで、地域における繁殖に寄与することを目指した。また広報誌の発行や、「マイホタル活動」を通して普及・啓発にも取り組んだ。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		

【高等学校の発表】

6	愛知県立時習館高等学校 SSH 生物部	三河湾の環境調査 ～海・河川・干潟の環境と生物調査～
三河湾や河川、干潟の水質・底質の調査を実施し、その原因や生物・環境面に対する影響について検証した。環境の異なる複数の地点で調査を実施することで、水質の違いとプランクトンの種類の関連性、環境 DNA 解析により各地点の生物多様性を比較した。		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
7	愛知県立三谷水産高等学校 海洋資源科	海の豊かさと陸の豊かさを守るために、水産高校生ができること
SDGs 達成に寄与するため、「漁民の森林づくり活動」や「三河湾環境チャレンジ」といった活動の他、カワバタモロコやタガメの飼育・繁殖、外来種の駆除やドローンを活用したアマモのモニタリング調査を実施するなど、幅広い活動を実施してきた。		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
8	さくらがおか 桜丘高等学校 生物部	絶滅危惧種「タガメ」の繁殖と展望
絶滅危惧種であるタガメの繁殖を目的として、体重増加によるタガメの窒息死を減らすために、エサの量を減らして検証した。またタガメの生息域を拡大するために、田んぼでタガメの便を採取・活用することで、タガメの繁殖に繋がった。		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

9	愛知県立佐屋高等学校 科学部	水田生物の保護と生態系の保全
<p>高校の有機栽培水田において、希少種といわれるドジョウに着目し、生息数を調査した。また、外来種等の水田の生物保護や生態系の保全に悪影響を与える要因について調査し、除草剤使用の中止などの対策を講じてきた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>		